



日体大 SMG 横浜の選手がヒューマンヒルズ初山に慰問 2024.2.16

想像以上の方が慰問に参加

2/16(日) ヒューマンヒルズ初山に、日体大 SMG 横浜の吉川選手、窓岩選手、北沢選手、藤沢選手、菅原選手が、慰問に来てくれた。当初、心身の状態などを鑑みて 15 名くらいのご利用者さんの参加を想像していたが、開催当日職員がご利用者さんにお声がけすると、想定した倍近くの 30 名ほどが慰問に参加し、選手たちと交流した。

慰問に先立ち、ヒューマンヒルズ初山では歓迎ムードを醸成するために、応援ポスター、フラッグ、お手紙などを職員が制作、施設内に貼り、ご家族へ慰問を案内を差し出した。サッカーやスポーツ観戦が好きなご利用者さんがいるのは分かっていたが、慰問のことを知り、「このチームってなに?」「どんなことをするの?」など、多くの方が興味を持ってくれた。

双方向的な交流で仲が深まる

慰問の時間が近づくと、会場となるダイニングルームに、続々とご利用者さんや面談に訪れたご家族が集まってくる。会場のテレビからは、日体大 SMG 横浜のゴール集の映像や、公式応援歌「繋がる世界」の PV が流れ、いつもとは違う雰囲気の中、栗田副施設長の呼びかけで選手たちが登場。

自己紹介の後、狭いスペースで 10 連続ノートラップパスや、10 連続ヘディングパスなど選手たちのスキルを披露。選手たちのすごさを実感したようだ。ご利用者さんから、わっと歓声上がる。スキル披露が終わると、選手指導の

もとアタマとカラダを同時に使う運動をご利用者さんと一緒にやってみる。アタマもカラダも、最初はゆっくり、徐々に早く。楽しみながらも真剣に取り組むことで、筋力維持だけでなく、アタマへの刺激が認知機能の低下防止や心のリフレッシュになるといわれている。

一連のレクリエーションが終わると、おやつ時間。おやつを選手が各席に配膳し、フリートークが始まる。選手たちへの関心が高かったようで話が盛り上がる。なでしこリーグって何?あなた出てるの?など、サッカーに関するだけでなく、生まれや好きなものを聞いて共通点に喜んでみたり、あなたは今後どうなりたいの?など、人生相談的なことを話しているご利用者さん、選手に向かって「私は今日からあなたのファンよ!」などと宣言する方もいた。

初めての交流だったが、若いアスリートの慰問は刺激的だったようで、普段あまり表情を出さない方が笑ってらしたり、ネガティブになっている方から「試合を見るのが楽しみだ」など、ポジティブな反応があった。

選手たちも、ご利用者さんを元気にできた実感があっただろう。今度はご利用者さんが選手を励ます番である。

